

平成 28 年度 第 1 回三重県行財政改革推進本部本部員会議 概要

- 1 開催日時：平成 28 年 4 月 14 日（木）9:30～9:46
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり

議題 1 「歳入確保ワーキング・グループ」及び「歳出改革ワーキング・グループ」の設置等について（案）

【藤嶋財政課長】（資料 1 に基づき説明）

今後 4 年間に向けた「中期財政見通し」の試算では 193 億円の財源不足が見込まれるなど、平成 29 年度以降の予算編成に向けて、歳入歳出全般にわたる抜本的な対策が不可欠である。

そのため、「旅費・消耗品費等の節減」や「予算節減額の次年度予算加算制度の実施」の予算節減の取組を全庁的に進めていく。

また、より具体的で効果的な方策を検討するため、庁内横断的な組織として「歳入確保WG」と「歳出改革WG」を設置し、検討を進めていく。

（質疑等なし）

議題 2 平成 28 年度幸福実感日本一（政策）職員提案制度について

【中野行財政改革推進課長】（資料 2 に基づき説明）

今年度は提案制度の仕組みを見直す年度でもあり、気軽に提案できる一口政策提案を中心に実施する。これまで実施していたフリー部門に加え、テーマ部門においては各部局で提案を募りたいテーマを設定する。いずれも応募のあった提案は毎月末に関係部局に情報提供していく。

【西城伊勢志摩サミット推進局長】

ただちに反映できるような細かな提案を求めるのか。来年度の取組・事業に反映させるような提案は求めないのか。来年度からの仕組みの改善につながる提案を求めるのであれば、もう少し早い時期にいったん取りまとめる方法も考えられる。

【中野行財政改革推進課長】

毎月末の情報提供により、すぐに実行できるものはしていただくとともに、来年度の事業を検討する際の材料にしてもらえたらと考えている。テーマ部門のテーマとしては、第二次行財政改革取組における「協創」や「財政運営の確保」といったものを考えている。

【西城伊勢志摩サミット推進局長】

毎月末の情報提供は、各部局で参考にしてください、とお知らせするイメー

ジなのか。

【中野行財政改革推進課長】

そのとおり。

【渡邊副知事】

提案者のモチベーションを高めつつ、制度自体もうまく進むとよい。議題1の話も、目的と手段を勘違いしないように進めなければならない。

【知事】

昨年度末に「第二次三重県行財政改革取組」を策定し、今年度からスタートさせているが、さらに深掘りし、より具体化するという意味でワーキング・グループを設置して取り組んでいく。

できることは何でもやっていくし、毎回、行財政改革推進本部本部員会議でワーキング・グループについて報告を行い、県庁全体の意識も高めていく。

実行するにあたっては、目的と手段を勘違いしないという留意点を持ちながら、厳しい財政状況の中、覚悟を持ってやるということを肝に銘じて取り組んでほしい。